

Via Latina 22



253号 2016年7月

総本部よりのお知らせ - マリア会 アフリカでの初誓願式： コートジボワールとトーゴ

コートジボワール：2016年6月25日土曜日、アディアポドゥメのサンベルナル小教区聖堂において、3名のブラザーたち、Charles Diambra, Germain KediaそしてYves Kouakouが、マリア会における初誓願を立てて、その生涯を主に捧げました。初誓願者のご両親、いくつかの修道会のメンバー、友人、マリアニストの知人たち、それに、コートジボワールのマリアニスト家族の多くの人々がこの素晴らしい式典に集まりました。誓願式のミサはGautier Some師が司式しました。Some師はその説教で、常にキリストの人格を中心にその修道生活を生きるよう若き初誓願者たちに求めました。そして“丁度ハエが火にかかった鍋を避けて飛ぶのように、今後予想される数々の誘惑に直面しても強い者であるよう、皆さんがいつも主イエスの愛の火の奥深くに留まりますように”と言いました。彼らの誓願は、フランス・ベルギー管区長の代理である従属地区長、Georges Gbeze師によって受理されました。ミサの後、お祝いの 식사가マリア会修練院で歌とダンスを伴って分かち合われました。



Yves士、Germain士とCharles士

トーゴ：同じ2016年6月25日、トーゴでは2名のブラザー、Henri BaragouとDavid Mignouaがカラのシャミナード高校にて初誓願を立てました。トーゴ地区長のIgnace Pagnan師はその日の説教の中で、私たちが今生活している二重の背景について強調されました。1つは修道生活を明確に定義した第2バチカン公会議の50周年であり、そしてもう1つは、「奉獻生活の年」の“マリアニスト的延長”と理解されている私たちの創立200周年祭であって、この創立200周年は全ての会員に自分たちのカリスマにより強く戻るよう呼び掛けたところです。次の日6月26日、カラのドンボスコ小教区にて感謝のミサが捧げられました。ブラザーたちの共同体では一日中、夕方までお祝いの言葉が交わされました。初誓願者の皆さんおめでとう！



Baragou士



Mignoua士

次の日6月26日、カラのドンボスコ小教区にて感謝のミサが捧げられました。ブラザーたちの共同体では一日中、夕方までお祝いの言葉が交わされました。初誓願者の皆さんおめでとう！

初誓願者の皆さんおめでとう！

カナダ地区への訪問



三二黙想会参加者の一部

6月1日～9日、総長 Manuel Cortés 師と総本部財務局長 Michael McAward 士はカナダ地区を訪問しました。この地区には20名の会員がいて、4名を除く全ての会員は大西洋岸に近いケベック州に住んでいます。他の4名中、2名はマントバ州に、1名はトロントに、そしてあと1名はケニアのナイロビで宣教活動に従事しています。

この訪問では、ケベックの4つ共同体に滞在して、共同体集会、個人面談、会員たちとの生活と宣教活動の分かち合いの機会を

持つことができました。訪問中の恒例の行動として、総長評議員会のメンバーは時間を割いて介護施設にいる会員を訪れ、そしてこの地区の物故会員の墓で祈りを捧げました。

カナダ地区は会員の高齢化から来る明確な課題に直面しています。平均年齢が82歳で、マリア会の全行政単位の中で最も高齢化しており、彼らは確実に起こってくる何らかのリストラを含む将来計画について話し合いたいと切望しています。総長評議員会メンバーとの話し合いで、いくつかの選択肢が提示され、有意義な対話が始まりました。全マリア会員はその祈りのなかでこの継続中の対話とその結果

としてなされる決定に注目して頂きたいと思います。

総長評議員にとって、カナダ地区の会員と地区集会を開き、3名の地区会員の誓願宣立記念を祝い、更に、1880年以來、カナ



地区長Gérard Blais師と地区の二人の誓願・叙階記念者 (Jacques Breton師とGabriel Arsenault師)

ダにおけるマリアニストの生活と宣教に長年に亘り奉仕して来られた事に感謝して特別なLucernaire (光の祭儀)を祝うことができたことは、特別な喜びでした。



▲ Louise Brissetteさんを訪問する。この素晴らしいカナダ人女性がマリア会のケベック州サンタンセルム修道院近くで重度の障害者の子供(男女とも27名)を引き取っています。ハイチではBrissetteさんはマリア会の元修練院の建物を借りて、そこで7名のハイチの子供たちを引き取っています。

アルゼンチンの地区長

総長Manuel Cortés師は彼の評議員会の同意の下Javier de Aguirre師をアルゼンチンの新地区長に任命しました。彼の最初の任期は地区の規定に従い2016年11月1日から3年間となります。

アルゼンチン地区のマリア会の生活と宣教に対するその奉仕の精神と役立つとする気持ちにたいして、De Aguirre師に感謝します。

私たちはまた、地区のために盡してこられたすべてのことに対して、退任されるAndrés Tocalini師にも感謝します。



CEM(マリアニスト・ヨーロッパ会議)の議長の任命



総長Manuel Cortés師は、総長評議員会と協議の後、Jean-Marie Leclerc士をCEMの議長に任命しました。2016年7月1日から2021年6月30日まで5年間の任期になります。

このことはヨーロッパ・ゾーンの新たな時代の始まりですが、このヨーロッパ・ゾーンは去る2月15日に承認された新しい規定に従ってこれから活動することになるのです。また同時に、この新しい規定は新議長の役割も規定しています。

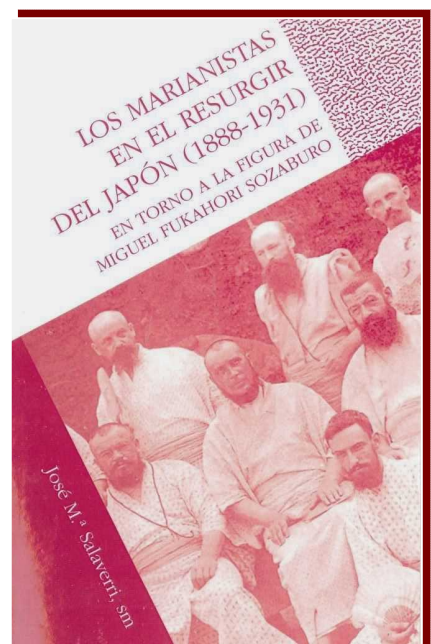
マリア会に対してこの新議長という奉仕をしてくださるJean-Marie士の開かれた心に感謝します。

日本のマリアニストと明治維新(1888年～1931年)

これは元総長José María Salaverri師がスペイン管区のマリアニスト出版サービスから出版したばかりの本に付けたタイトルです。

マリア会員たち自身が書いた原本を参考にしながら長年に亘り著述してきたこの本の中で、Salaverri師はマリアニスト宣教の歴史の最も素晴らしいできごとの一ページ、すなわち、日本におけるマリア会創立というできごとを回想する機会を読者に提供しています。それは創立者たちの信仰と不屈の忍耐の成果、すなわち、初期のすべての学校が捧げられたマリアの明らかな保護の結果でした。

日本の豊かで古くからの伝統的な文化は、それ以後、新たなキリスト教的、マリア的な色彩によって特徴づけられることとなります。この200周年記念の年にあたり、感謝をもって過去を見、希望をもって将来を見つめましょう。最初の宣教師たちの言語でこの本にアクセスできるよう、フランス語への翻訳が現在進められています。



総長評議員会メンバーのAMU(マリアニスト大学連合会)のシンポジウムに参加する

Maximin Magnan士とMichael McAward士はAMUが後援する150名が参加する特別なシンポジウムに出席しました。アメリカの3つのマリアニスト大学の修道者と一般信徒の協力者が集まったこのイベントは、6月12～15日にセントルイスで開催されました。

テーマは“マリアニスト大学における正しい諸関係”についてでした。種々発表と討議は大学という場におけるあらゆる面に於いて福音とマリアニストカリスマを証しするという私たちの召命に焦点を当てることでした：即ち、この重要な仕事にコミットしている人たちのために行われるしっかりとした継続養成の必要性、および、既に実行されている多くの建設的な施策の賞揚です。

AMU共同体内、外の双方から多様な講話者が、参加者間の公式、非公式の対話を促進する基調となる講演をしました。総本部教育局長Maximin 士がこれらの一つの講演をしました。この外に、豊かな典礼と食事の間の和気藹々とした雰囲気、この素晴らしい体験に花を添えていました。素晴らしい行事を計画したAMUのリーダーシップとアメリカ管区教育部に賞賛あれ！



ギヨーム・ヨゼフ・シャミナードとマリー・テレーズ・ド・ラムルース ～ 慈しみの証人～

ボルドー大司教区は、「ボルドーの聖家族在俗会」の創立者、ピエール・ビャンヴニュ・ノアイユ師とともに、このマリアニストの二名の創立者に脚光を当てるようにと選んでいます。5月19日木曜日、ボルドーの聖アンドレカテドラルにおいて、彼らの栄誉を称える演劇が上演されました。これは舞台監督のDenepoux夫人と、私たちのグラン・ルブラン高校を含む3つの修道家族が運営するそれぞれの学校の生徒たちが参加して準備されました。この進取の活動は、この演劇の成功と共に、今日もなおシャミナード神父と他の二名の創立者が享受している名声を示しています。これは私たちにとって何という勇気づけでしょうか！



これは舞台監督のDenepoux夫人と、私たちのグラン・ルブラン高校を含む3つの修道家族が運営するそれぞれの学校の生徒たちが参加して準備されました。この進取の活動は、この演劇の成功と共に、今日もなおシャミナード神父と他の二名の創立者が享受している名声を示しています。これは私たちにとって何という勇気づけでしょうか！

総本部の訪問者に関するニュース



- 6月9日～16日、アメリカ管区、Patrick McDaid 師は彼の両親と共にVia Latina22に滞在しました。彼はローマでの日程が詰まっており、その日程には水曜日の聖ペトロ広場での教皇謁見が含まれていて、その時彼は教皇フランシスコに会い言葉を交わすことができました。
- 東アフリカ地区から2名のマリア会員、Thomas Njari 士(6月16～27)とKondwani Nalivata 士(6月29～30)がスペイン、イルンでのHorizons 2016行事に参加する途中、数日間私たちと過ごしました。私たちは彼らを歓待しスペインへ送り出しました。
- アメリカ管区のThomas Oldenski 士が6月18日から27日まで滞在しました。彼はHorizons 2016の準備チームの一員です。
- アメリカ管区のThomas Farnsworth 士は6月25日から30日まで私たちのゲストでした。彼は教育行政に関する任務で5月22日から6月25日までフィレンツェに滞在していました。彼は次のように書き残しています:「もてなしと喜びという思いがけない贈り物は、私のローマ総本部への訪問でした。この市の大きなブロックを一つしめるこの総本部は何と素晴らしいの環境でしょうか! このテラスから数キロ先には、ローマ聖ペトロ大聖堂とラテラーノ聖ヨハネ大聖堂が臨めます。最も大きな贈り物は、祈り、ミサ聖祭、食事等を共にする兄弟たちを持つこと、それに、アメリカから4500マイルも離れたここで自分の家に居るようにくつろげると感じることです。どうしてこれらすべてが可能なのでしょう。これは神と聖マリアからのお恵みに他なりません。私は自分のマリア会員としての召命の贈り物に深く感謝します!!」

総本部日程

7月(丸一月): 総本部メンバー(MC、AF & MAX)がスペイン、イルンでのHorizons2016の種々日程で行事に出席。www.icmf.info

7月20日～8月2日: MMc ポーランド、クラクフで開催される2016年ワールドユースディに参加。

総本部 最近の通信

- 訃報 # 14.

